

管清工業が第4回インフラメンテナンス大賞で 国土交通大臣賞を受賞

「下水道の見える化」と「地域住民との交流」が評価されました

非開削技術編集室

当協会正会員の管清工業(株)がインフラメンテナンス大賞の国土交通大臣賞を受賞されました。

インフラメンテナンス大賞とは、日本国内のインフラのメンテナンスに係る優れた取組や技術開発を表彰し紹介することにより、インフラメンテナンスの重要性を広く世間を知っていただくことを目的に平成28年より実施されており今年で4回目となります。

国土交通省をはじめ関係省庁が所管する施設について、「メンテナンス実施現場における工夫部門」、「メンテナンスを支える活動部門」、「技術開発部門」の3つの部門において、優れた取組や技術開発を公募し、各界の有識者による審査を経て、各大臣賞、特別賞、優秀賞を決定しています。

今回同社は、「メンテナンスを支える活動部門」における「下水道の見える化」と「地域住民との交流」の取り組みが評価され受賞されました。具体的には、下水道の管内調査作業を、地域住民の方々に直接管内カメラの映像を見ていただくことを実施し、併せて作業員が管内の状況を説明し住民からの質問に対しても丁寧な対応を行いました。



▲ 興味をもって見ている地域住民の方々へご説明する様子

同社の今回の受賞により、下水道業界全体が同様な取り組みを実施し、これまで以上に下水道の維持管理への理解と重要性が広く認知されることが期待されております。



▲ 地域住民からのご質問に回答する作業員



▲ 地域住民が注目している様子